



二月逃げる

いちげつに 二げつに ける きんげつに する
一月往ぬる二月逃げる三月去る

副校長 上田 弘美

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といって、1～3月は年度末に向けて1年間のまとめを行うためにやるべきことが多く、あっという間に過ぎてしまうことを表す言葉です。それぞれの月の頭文字をとって調子よくポンポンというようになっていますね。今月は2月・・・逃げて行ってしまう月のようです。逃げられないようにしっかり3月までついていきたいものです。

今月は短い中に行事が詰まっています。特に3年生にとっては自分の未来を左右するような月になります。5日(金)には中学校で受ける最後の定期テストが終わったばかり。今週は私立高校入試、来週は公立高校の共通検査。そして卒業に向けた準備が始まっています。3月11日の卒業式まで、あとわずかです。2月はチャンスを逃がさず、3月に立派に中学校から去ることができるように、ぜひ力を尽くしてください。1, 2年生も3年生の姿をしっかりと目に焼き付けておきましょう。2月を逃がさない! 去っていく3月は余裕で手を振って送る! そんな気持ちで1年間の総まとめをしましょう。

ちなみに、1, 2年生の定期テストは15日(月)～17日(水)の3日間です。まだ間に合います! 努力を続けてください。なりたい自分を頭に描いて「なりたい自分になる」のです。自分でなるのです! 誰も「ならせて」はくれないのです。努力してください。努力はどれだけしても、しすぎることはありませんから。

余談ですが、私が自分を戒めるときに思い出すのはこんな言葉です。👉

1, 2年生が定期テストを受けているとき、3年生は公立高校の共通検査です。場所も問題も全然違いますが、ヒガカモの生徒たちが同じ日に自分の力を存分に発揮できますように。全力で全集中! 応援しています。

アメリカの元バスケットボール選手マイケル・ジョーダン(バスケの神様とも呼ばれる)の名言です。

「待っているだけの人たちにも何かが起こるかもしれないが、それは努力した人たちの残り物だけである。」リンカーン



「目標を達成するには、全力で取り組む以外に方法はない。そこに近道はない。」 さあ、どうする?



～体調管理は万全ですか?～

勉強するにも健康第一です

1月の中旬ごろから、体調不良・かぜの症状・腹痛等での欠席連絡や遅刻・早退が少し増えてきました。睡眠不足やちょっとした疲れ、日々の気温差などで体調が崩れてしまいがちです。

規則正しい生活を送っていますか? テストが近いからと言って、遅くまで起きてはいけません。また、ゲームやSNSのやりすぎなんてもってのほかです。バランスの良い食事もしっかりしましょうね。テストの日に体調が悪くなってしまったら困りますよ。

現在は健康観察、朝の検温を必ずすることになっています。体調不良や発熱している場合は欠席ですね。すでに受診して診断が確定していても、教室でテストを受けられないような状態のときは、ゆっくり休みましょう。また、登校後に発熱した場合は早退、テスト中に腹痛や吐き気でトイレに行くなどの体調不良に陥った場合はその後の様子次第では早退しなくてはならなくなる可能性があります。

今のうちから体調管理をしっかり行い、当日に力が出せるようにしましょう。

人権講演会

2月3日(水)1校時に人権講演会を行いました。

今年度は「障がい者スポーツ」について講演をお願いしました。障がい者スポーツ(電動車椅子サッカー)の活動支援をしていらっしゃる松本力さんをお招きしました。今年度はコロナウイルス感染症予防のため、各教室のTVで視聴する形をとりました。

VTRで障がい者の方が行っているサッカーについて視聴し松本さんのお話をお聞きしました。障がいのあるなしに拘わらず、スポーツを通して様々な体験をすることや仲間と絆を深めあうこと、自分を高めていくこと等、生徒の感じたことは様々でした。

～生徒の感想より～

「靴ひもを結べないときにはお互いに助け合ったりミスしてしまっても責めたりしないところが本当にやさしいし、素敵だなと思った。初めて話を聞いたけど、どの種目にも魅力があって、少し興味を持った。」2年Kさん



「先入観で判断するのではなく、自分で見て、いろいろな立場の人と共に生きていくことが必要だと思いました。目が見えない、耳が聴こえない、サッカーをする上で必要な足がない。そんな人でもサッカーができるのは素晴らしいと思いました。危険だと思ってもサッカーができるならやりたいと思えるのはいいことだと思います。」2年Sさん

「松本さんたちの活動について、人からではなく自分たちで知りそれを情報としてよりよい社会を作ろうとするのはどんなことでも大事だと思った。

障がいのことを考えて、助けに行くべきなのか見守るべきなのかを見極めたりして、自分たちとは違うと思わず生活をするのを大事にしたい。」2年Mさん
「誰もが同じルールで同じように楽しむことは難しいけど、誰もが楽しめるように、ルールを工夫することで、みんながいろいろなスポーツを楽しむことができるんだと気づいた。」1年Hさん

「十人十色という言葉があるように、足が不自由だったりしてもそれらは個性だから「障がい者がいる社会は当たり前」という言葉とかすごく共感できた。」

3年Kさん 「いろいろな人が笑いあえる社会を作りたい。」3年Gさん

「自分たちは様々な環境や交友関係や社会の中で過ごし、いろいろな人生を歩んでいるが、すべての人々が個性や生まれつきの体質や、ある日の出来事が原因で変化したことがありそれで傷ついたりしていて、それでも生き生きとスポーツをして活躍している姿を見ると、誰もが何でもできる力があり、平等なんだ、と思った。」3年Tさん



松本さんが関わった電動車椅子サッカードキュメンタリー映画

4月から

急募

探しています!

ひより弁当販売と受け渡しのお手伝いをしてくださる方!



販売は朝8時15分ごろ～9時ごろまで。生徒の登校時に弁当注文を受け集計をします。そのあとはFaxで注文します。受け渡しは昼食時間に合わせて、生徒がお弁当を受け取りに来た時に渡していただきます。いずれも、今お手伝いいただいている方との調整で来ていただく日を決めていきます。(固定ではありません。)保護者の方に限定しませんので、お知り合いの方でお願いできる方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

(ひより弁当から謝金があります。) 詳細は副校長までお問い合わせください。

☎931-7398

